

## 地理歴史科（日本史探究）学習指導案

## 1 単元名 恐慌と第二次世界大戦

「D 近現代の地域・日本と世界」の「(3) 近現代の地域・日本と世界の画期」を想定して作成

## 2 単元目標

- (1) 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。
- (2) 国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに注目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などの根拠を示して表現する。
- (3) 20世紀の国際関係と戦争について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

## 3 単元計画(全体11時間)

## (1) 指導計画(配当時間)

- ・恐慌の時代 3時間
- ・軍部の台頭 3時間
- ・第二次世界大戦 5時間（本時11/11）

## (2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。	・国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに注目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などの根拠を示して表現している。	・20世紀の国際関係と戦争について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

## (3) 指導内容及び評価計画

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準 (C) 具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第1次 (3)	【学習課題】〈単元を貫く問い〉「15年戦争が起きた時代、日本はどう乗り切るべきだったか」						
	【学習課題】〈本時の問い〉「恐慌が多発したのはなぜだろうか。また、政府はどのように対応したのだろうか」						
	・日本の恐慌についての理解 ・日本の恐慌と政府の対応についての考察	・授業動画を見て日本で恐慌がおこった背景を理解する。 ・本時の問いについて考察し、プリント（またはwebシート）に記述する。	●	○	●	(B) 根拠をもっている。 (C) 動画を自宅で見聴させる。	プリント（またはwebシート）の記述
【学習課題】〈本時の問い〉「1920年の経済対策の中で、財閥はどのように成長して、政治に影響をもったのだろうか」							
・財閥についての理解 ・日本の経済対策財閥について考察	・教科書を読んで、1920年の日本経済と財閥について理解する。 ・本時の問いについて考察し、プリント（またはwebシート）に記述する。	●	○		(B) 根拠をもっている。 (C) 動画を自宅で見聴させる。	プリント（またはwebシート）に記述内容	
【学習課題】〈本時の問い〉「当時の日本において、金解禁政策がとられたのはなぜだろうか」							

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準	評価方法
			知	思	態	(C) 具体的支援	
第2次 (3)	【学習課題】<本時の問い>「満洲における軍の行動を指示し、テロ事件を容認したのはどのような人々だろうか。またその理由は何だろうか」						
	【学習課題】<本時の問い>「なぜ、日本は国際的に孤立することになったのだろうか」						
	【学習課題】<本時の問い>「どのようにして軍部の政治的な影響力が強まっていったのだろうか」						
第3次 (5)	【学習課題】<本時の問い>「長期におよぶ戦争は、国民生活にどのような影響をもたらしたのだろうか」						
	【学習課題】<本時の問い>「日本はなぜアメリカとイギリスに宣戦を布告したのだろうか」						
	【学習課題】<本時の問い>「戦局が展開する中で、国民生活はどのような影響を受けただろうか」						
	【学習課題】<単元のまとめの問い(単元を貫く問い)>「15年戦争がおこった時代、日本はどう乗り切るべきだったか」						
	・15年戦争の画期における判断についての考察	【ねらい】今まで学んだ知識を活かして、主題をたて、15年戦争の各画期における判断を意識しながら考察する。	●	○		(B) 設定した主題に沿って根拠をもって考察している。 (C) 個別に助言する。	・ワークシートの記述
	・15年戦争の画期における判断についての模擬実験と再考察 ・振り返り	【ねらい】個人の主題に合わせて15年戦争について俯瞰し、日本がどのような国家戦略を採用しても困難が大きかったことに気付く。 【ねらい】戦争を回避することが難しかったことを多面的・多角的に捉え、今後を展望する。	●	○	○	(B) 自己の意見を、根拠に基づき修正している。 (C) 資料を参考にさせる。 (B) 歴史的思考に基づき、今後の世界・日本の在り方を展望している。 (C) 「15年戦争シミュレーター」を活用させる。	・ワークシート、や「感想・まとめ」の記述

4 本時の指導と評価の計画

(1) 本時の目標

15年戦争における画期を見だし、日本の国家戦略について考えることを通じて、日本や世界各国が現代においていかに在るべきかを考察する。

(2) 本時の展開

ア 身に付けさせたい力

- (ア) 国際情勢を、多面的・多角的な視点で捉える力
- (イ) 当事者感覚をもって歴史的事象を考察する力
- (ウ) 歴史的思考力を発揮して、現代社会の諸問題を自分事として考える態度

イ 使用するICT機器 ロイロノート Teams パワーポイント (歴史シミュレーター)

ウ ICT活用のねらい 意見集約・発表, 教材配布, シミュレーターの使用

エ 前時の展開(10/11)

(○…「評定に用いる評価」, ●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	・15年戦争についての復習	・画期となる出来事について、内容を確認する。	・教科書, 図説, プリントを確認する。
展開	・15年戦争の画期における判断についての主題決定 ・主題に合わせて、15年戦争の画期における判断の考察	・15年戦争の画期における政府の判断について、個人で考察する。 ・各班の主題(国家戦略)と画期となる出来事を、資料を用いて考察し、その後の展開を予想する。	・ロイロノートで自分の考えを提出する。 ・個人の主題に合わせて班を編成する。 ●班での協議の様子【態】
まとめ	・まとめ	・各班で考察した内容をワークシートに記入する。	・班の代表者がロイロノートに提出する。 ●ワークシート【思】

## オ 本時の展開(11/11)

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	・15年戦争の画期における判断について発表	・各班の主題(国家戦略)と画期となる出来事, 予想されるその後の展開を発表する。	・班ごとにロイロノートに提出させたワークシートを投影する。 ●ワークシート【思】
展開	・15年戦争の画期における判断についての模擬実験 ・15年戦争の画期における判断についての再考察 ・15年戦争をどう乗り切るかについての模擬実験	・15年戦争シミュレーターを使って, 主題(国家戦略)に沿って考察した内容について模擬実験を行う。 ・模擬実験での結果を参考にしながら, 再考察し, ワークシートにまとめる。 →ロイロノート(またはTeams)に提出 ・再度シミュレーションを行う	・Teamsで配付したシミュレーターを起動させる。 ・一度シミュレーションを実施したのち, 再考察を行う。 ・資料を参考にしよう勧める。 ・班ごとにロイロノートに提出させたワークシートを投影する。 ○ワークシート【思】【態】
まとめ	・振り返り	・今回の考察や, 模擬実験。またその後の再考察によって得た考えをまとめる。	○ワークシート「感想 まとめ」【態】

(3) 本時の評価規準 5の(1)(2)参照

## 5 評価問題(評価材料)及び評価規準

(1) ワークシート「その後の展開の予想」の評価規準【思考・判断・表現】

ワークシート設問「その後の展開の予想」

15年戦争の画期における判断について考察し, その後の展開を予想しよう
ワークシート「その後の展開の予想」の判断基準
「おおむね満足できる」状況(B)と評価される例
・今までの学習内容を振り返り, 15年戦争における日本の画期を見だし, その後の展開を予想している。
「十分満足できる」状況(A)と評価される例
・今までの学習内容を振り返り, 諸外国の情勢に着目し, 15年戦争における日本の画期を見だし, その後の展開を予想している。
「努力を要する」状況(C)と評価される生徒の例と教師の指導
・今までの学習内容や, 諸外国の情勢を理解できておらず, 無根拠な予想となっている。 →教師が助言を与えたり, 他班の考察を共有させたりして, 最後の振り返りでしっかりとした考えを記述できるよう支援する。

(2) ワークシート「感想 まとめ」の評価規準【主体的に学習に取り組む態度】

学習を振り返って, 学んだことや新たな見出した課題などをまとめている。

ワークシート設問「感想 まとめ」

今回の授業で, 学んだこと, 気付いたことは何か。
ワークシート設問「感想 まとめ」の判断基準
「おおむね満足できる」状況(B)と評価される例
・戦争を回避することが困難な情勢の中で, 日本政府が難しい判断を強いられたことを理解している。
「十分満足できる」状況(A)と評価される例
・戦争を回避することが困難な情勢の中で, 日本政府が難しい判断を強いられたことを理解し, 今後の日本と世界の在り方について展望している。
「努力を要する」状況(C)と評価される生徒の例と教師の指導
・当時の日本と世界の状況が理解できておらず, 今後を展望できない。 →当時の日本と世界の状況を振り返り, 助言する。

(3) 評価問題①【知識・技能】

・15年戦争における出来事について, 年代順に正しく配列されているものを選びなさい。(定期考査にて)
--

## 6 成果と課題

## (1) 実践報告

前時の授業において、生徒はグループで主題を定め、画期となる出来事で選択を変えた場合、歴史がどのように展開されるかを予想し、ロイロノートにシートを提出した。

本時はまず導入として各班が、それぞれの主題と、画期、その後の歴史の展開を発表した。その後、各班でTeams内に共有した「15年戦争シミュレーター」を操作し、シミュレーションを行った。1回目のシミュレーションの後に、しっかりと分析を行い2回目の予想に移り、全体で共有するはずだったが、ほとんどの班が、勝手に予想をし、シミュレーターを使ってシミュレーションを行い続ける班が多かった。指示と違う動きだったので、生徒に対して声かけを行ったが、2回目の予想とワークシート記入がシミュレーション後になってしまった班が多かった。

その後2回目の画期と予想を全体に発表したが、そのうち三つの班は授業者が提示した画期とは違う出来事を挙げており、シミュレーターをきっかけとして思考の変容を促すことができた。

主題と画期（1回目→2回目）は以下のとおりである。

1班	主題	平和	画期(1回目)	二十一か条の要求
			画期(2回目)	→征韓論を広めない
2班	主題	敵を増やさない	画期(1回目)	日独伊三国同盟
			画期(2回目)	→満州事変
3班	主題	アメリカと仲よくする	画期(1回目)	満州事変
			画期(2回目)	→国際連盟の脱退
4班	主題	アメリカと仲よくする	画期(1回目)	満州事変
			画期(2回目)	→国際連盟からの満州返還要請の承認
5班	主題	アメリカとの協調外交・東洋における支配の継続	画期(1回目)	日独伊三国同盟
			画期(2回目)	→満州事変
6班	主題	アメリカと協調し、戦争に勝利する	画期(1回目)	日独伊三国同盟
			画期(2回目)	→満州事変
7班	主題	戦争に勝つ	画期(1回目)	ワシントン海軍軍縮条約
			画期(2回目)	→日中戦争
8班	主題	最低限の力をもっておく。その後は反戦	画期(1回目)	国際連盟脱退
			画期(2回目)	→アメリカ・イギリスとの同盟

## (2) 成果

- ・生徒は主体的、協働的に授業に取り組み、深い学びが得られた。
- ・最初に個人で考えてから班ごとの活動に臨んだことが、生徒の主体的な学びにつながった。
- ・シミュレーターの判断に従う段階から一歩進んで、自分なりの画期を見だし、歴史的展開を予想している班があった。このことは、シミュレーターの使用は思考を促すための手段であり、生徒の多様な考え方を促進させるねらいが想定どおりとなった。
- ・本単元を通して、全ての班で歴史的思考力の変容が見て取れた。
- ・事前に「教員の引いたルールに生徒を沿わせる授業になる」との懸念もあったが、結果的にシミュレーターにない結論を導き出す班が三つあり、生徒は思考力を発揮して考えていた。
- ・評価① 1回目 評価B31人(100%) → 2回目 評価A23人(74%) 評価B 8人(26%)
- ・評価② 評価A 6人(19%) 評価B22人(71%) 評価C 3人(10%)

## (3) 課題

- ・資料の読み取りに終始して、思考力を発揮する場面が不十分ではという懸念があがったが、むしろ利用する班の方が少なかった。もう少し有効に活用できるよう工夫したい。
- ・シミュレーターを含めた教材作成には時間がかかる。

- ・1回目のシミュレーションの後に熟慮させる場面を設定した方がよりよい意見が形成されたかもしれない。  
今後の実践で取り入れていきたい。

7 参考文献

- ・教科書『日本史探究 詳説日本史』（山川出版社）
- ・教科書『新詳日本史』（浜島書店）
- ・副教材『詳録新日本史史料集成』（第一学習社）